

直接投入型ディスポーザーについて

直接投入型ディスポーザー導入について

- ・ディスポーザーとは . . . 1
- ・導入の目的、期待される効果 . . . 2
- ・今後の方針 . . . 3

前回の審議会でもいただいたご意見について

- ・処理費用比較 . . . 4
- ・関係部局との情報共有 . . . 5
- ・ごみ減量・資源化指針 . . . 6
- ・まとめ . . . 7

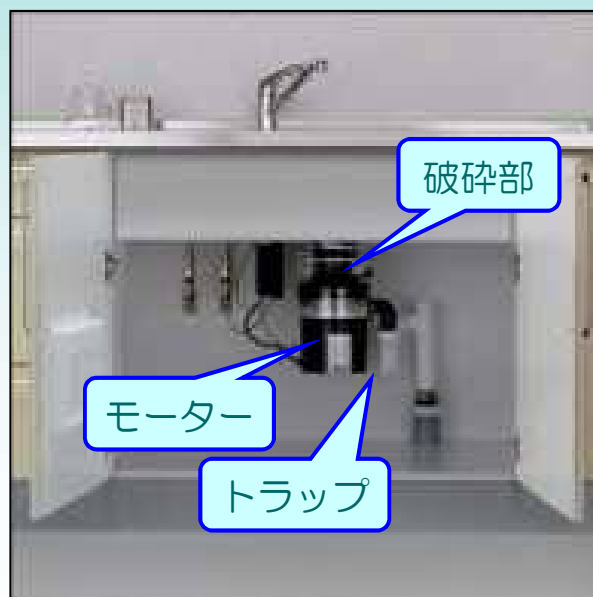
【参考】

- ・ごみ減量・資源化指針（概要版） . . . 8

直接投入型ディスポーザー導入について

ディスポーザーとは

台所の流し台の排水口に取り付け、野菜くずなどの生ごみを2mm程度の大きさに砕いて、水と一緒に排水にする機械



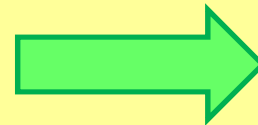
家庭用の仕様

- 重さは、約4~10kg
- 大きさは、高さ約30cm×幅約20cm

直接投入型ディスポーザー導入について

導入の目的

- ごみ出し作業の軽減
- 臭気・鳥獣被害の軽減
- 台所環境の向上



市民サービスの向上

期待される効果

- ごみの減量化
- 生ごみの再資源化
- 設置者の負担軽減

懸念事項

- 下水道施設への影響
(管渠閉塞、水質悪化)



モデル事業にて検証

直接投入型ディスポーザー導入について

今後の方針

○北西部処理区では、直接投入型ディスポーザーを
今後も設置可能とする。

（下水道システムへの影響を注視）

○他処理区への拡大は、当面行わないこととする。

（管路の老朽化 ⇒ 閉塞の懸念）

前回の審議会でいただいたご意見

①普通ごみとして処分する場合との費用比較結果を
提示されたい。

②ごみ減量分について、一般会計からの繰入を検討すべき。

処理費用比較

		処理費用	
		1t当たり (円/t)	1世帯・月当たり (円/世帯・月)
焼却処分	収集運搬（普通ごみ）	21,594	154
	中間処理（焼却処理）	15,841	113
	最終処分（埋立・委託）	935	7
	合計	38,370	274
ディスポーザー	管渠清掃費	35,379	252
	処理場維持費	20,556	148
	合計	55,935	400

※1世帯・月当たり生ごみ排出量：約7kg

関係部局との情報共有

経緯

平成20年度・・・直接投入型ディスポーザー導入について、
環境事業部と協議開始

平成21年度・・・直接投入型ディスポーザー導入について、
自然共生部と協議開始

平成23年度・・・「直接投入型ディスポーザー導入モデル事業」開始
「ごみ減量・資源化指針2011」の生ごみ減量施策の
一つに直接投入型ディスポーザー導入モデル事業が
位置付け

平成28年度・・・新たな「ごみ減量・資源化指針」の生ごみ減量施策の
一つに直接投入型ディスポーザーの導入検討が位置付け

ごみ減量・資源化指針

取り組み目標

ごみ焼却量10万t以下を目指します
～ごみ焼却量29,000t以上の削減～

取り組み期間

平成37年度まで

ごみ1/3減量大作戦

多様な資源ごみ回収の仕組みをつくる

紙ごみを減らす

生ごみを減らす

プラスチックごみを減らす

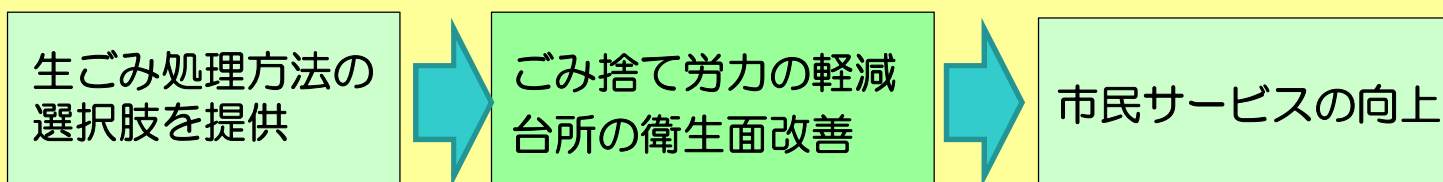
事業系ごみを減らす

ごみ処理有料化制度の導入を検討する

- 生ごみ減量キャンペーンを推進
- 生ごみの地産地消を推進
- 生ごみ堆肥化推進事業の活用
- 直接投入型ディスポーザーの導入検討
- 生ごみの資源化技術等の調査

まとめ

①処理費用は、焼却処分よりディスポーザーの方が高い。



最近の動向

- 国土交通省では紙オムツの下水道への受入に向けた検討に着手。
- 処理槽付ディスポーザーの設置は増加。

②直接投入型ディスポーザー導入について、関係部局と情報共有を行ってきた。

ごみ減量に伴う一般会計からの繰入れについては、普及状況を見ながら、今後検討する。

【参考】ごみ減量・資源化指針（概要版）

ごみ減量 資源化指針 概要版

岐阜市環境局が取り組む資源化推進の方向性について、今後のごみ減量・資源化に関する施策を体系的に示す「ごみ減量・資源化指針」を策定しました。

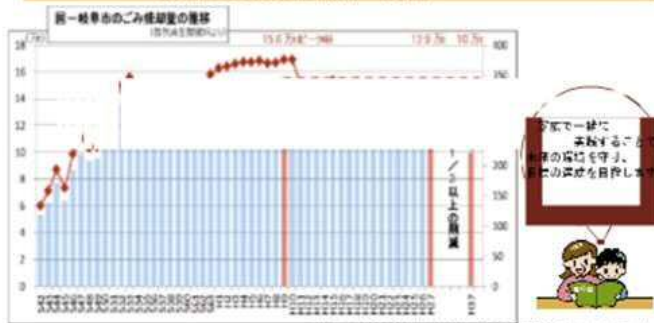
■ごみ減量の目的

- 1. 快適な生活環境の保全**
有限な資源を賢く確保して、多くのごみ・資源の処理コストの削減を図ります。
- 2. 安定したごみ処理サービスの提供**
ごみ減量・資源化を進め、ごみ処理の安定した提供を図ります。
- 3. ごみ減量行動の確となる地域の絆**
ごみ減量の取組を通じて、地域の絆を深めます。

■取り組み目標

一人暮らしの単身世帯で岐阜市16区を1区として

ごみ焼却量 10万トンを目標とします（1区1年あたり）
～ごみ発生量 29,000トンの削減～（2025年度）



ごみ発生量が10万トンの単身世帯で岐阜市16区を1区として

人口が今の41万人前後で推移する前の昭和40年代後半のごみ焼却量となります

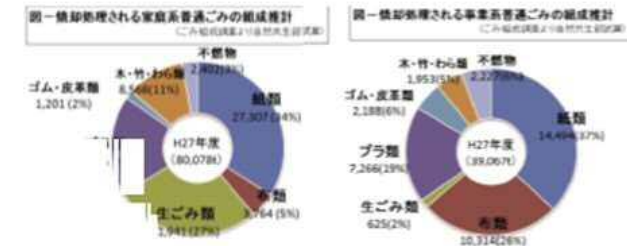
取り組み目標の換算は、
① 1区1年あたりごみ発生量が、17,000～24,000トンを想定しています。
② 1区1年あたりごみ焼却量が、10,000トンを目標とします。
③ 1区1年あたりごみ発生量が、29,000トンを想定しています。
④ 1区1年あたりごみ発生量が、30,000トンを想定しています。
⑤ 1区1年あたりごみ発生量が、30,000トンを想定しています。
⑥ 1区1年あたりごみ発生量が、28,000トンを想定しています。

■取り組み期間

即時に16万人当たり、平成37年度までとします。（基準年度は平成27年度）

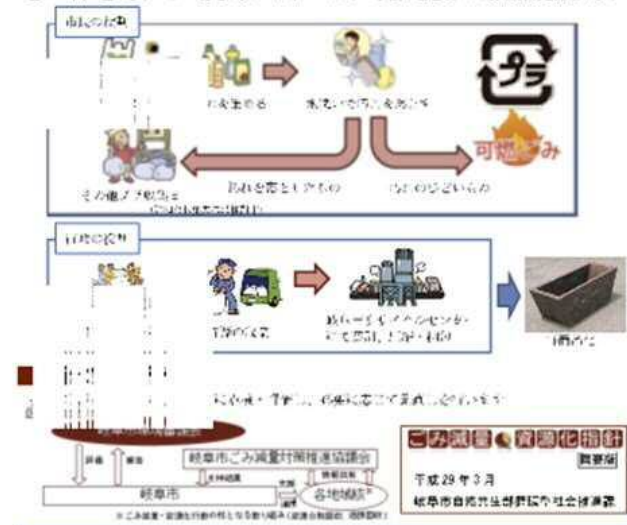
■ごみの現状

2024年度（令和6年度）のごみ発生量は、28,508トンを発生し、2023年度（令和5年度）の29,067トンに比べ、559トンの削減が図られました。生ごみ類、プラスチック類の削減が顕著です。



■そのほか、プラスチック製容器包装類の分別収集

岐阜市、マイコンテナが導入される2025年度以降は、その際プラスチック製容器包装類（PET・PP・PE）の分別収集を開始します。



【参考】ごみ減量・資源化指針（概要版）

■目標達成のための3つの基本方針と6つの基本施策

次の3つの基本方針と6つの基本施策に基づき、これまでの取り組みを継続しつつ、新たな取り組みを加え、市民や事業者、市が地域の中で一体となった運動として進めていきます。



基本方針 1

ごみの発生を抑制する仕組みをつくる



基本方針 2

ごみの中の資源を循環し、再利用する



基本方針 3

地域の絆の中で、ごみ減量を進める

基本施策 ①
毎日の生活の中でごみ減量意識を習慣化する

基本施策 ②
ごみ排出量に応じた負担を公平にする

基本施策 ③
再利用できる資源を
ごみの中から抜き出す

基本施策 ④
温暖化対策に向け、
ごみ減量の取り組みを進める

基本施策 ⑤
生活様式にあわせた
資源分別の機会をつくる

基本施策 ⑥
ごみ減量の情報を
共有できる仕組みをつくる

ごみ1/3減量大作戦

3つの基本方針と6つの基本施策を横断的に取り組み、

「ごみ1/3減量大作戦」市民運動により、6つの作戦を推進していきます。

★平成28年度以降の新たな取り組みです

作戦1 多様な資源ごみ回収の仕組みをつくる 700

- ★市民が参加しやすい資源分別回収事業を構築します。
地域活動への参加意欲を喚起し、資源分別回収の費用負担を軽減、回収方法を見直します。
- ★資源回収の情報を入手しやすい仕組みを整備します。
資源分別回収の回収場所や時間など、インターネットやアプリに活用し、資料の入する袋の充実を図ります。
- ★民間活力を生かした資源化ルート把握し、市民が利用しやすい環境を整えます。
買い物のついでに資源ごみを持ち帰る回収回収など資源化方法を検討し、回収ルートを整えます。
- ★ごみの排出状況や資源化手法を調査します。
資源ごみに含まれる資源の回収方法を分析し、資源化手法を調査します。

作戦2 紙ごみを減らす 2,400

- ★雑誌の分別回収を促進します。
雑誌の分別回収を促進し、「エコーの雑誌のリサイクルのまち」を推進します。
- ★紙類を集める回収拠点を拡充します。
紙類を集める回収拠点を、身近な施設に設置します。
- ★脱・使い捨て意識を醸成し、リターナブル製品の利用を促進します。
「使い捨てをしない」意識を醸成し、紙ごみの削減を促します。
- ★紙再生古紙のリサイクル技術等を調査します。
リサイクルが促進される高品質再生紙を開発します。

作戦3 生ごみを減らす 3,100

- ★生ごみ減量キャンペーンを推進します。
すべての市民が実践できる、生ごみ減量の手法を指導し、生ごみをつくる家庭の戸数を調査し、生ごみの削減を推進します。
- ★生ごみの地産地消を推進します。
生ごみ処理施設や堆肥センターを推進し、生ごみからできる堆肥が家庭で活用できるようにします。
- ★生ごみ堆肥化推進事業を活用し、循環型社会の啓発をします。
生ごみ処理施設を活用し、市民が堆肥の活用を体験できるようにします。
- ★直接投入型ディスポーザーの導入を検討します。
生ごみを下水道を通じて処理し、水の節水の節電を推進します。
- ★生ごみの資源化技術等を調査します。
より新しい資源化手法を検討します。

作戦4 プラスチックごみを減らす 2,010

- ★その他プラスチック製容器包装類を分別収集します。
容器やフタの分別回収を推進し、そのプラスチック製容器包装類を分別収集します。
- ★リユース品の利用を拡大します。
フリーマーケットの開催や商品の販売などにより、リユース品の利用を拡大します。
- ★店頭回収を推進します。
店頭回収の回収場所を拡大します。
- ★マイバッグ運動によりレジ袋の利用を抑制します。
マイバッグ運動を推進します。
- ★持続可能な「地球生活」を考えよう運動を展開します。
地球生活でプラスチックごみの削減を推進する運動を展開します。

作戦5 事業系ごみを減らす 2,200

- ★立入事業所への指導を強化します。
立入調査による指導を強化します。
- ★事業所から排出される生ごみの削減を推進します。
飲食店や調理場などから生ごみを削減します。
- ★事業所で働く人に向けて、「オフィスでちよっとごみ減量」運動を展開します。
オフィスなどで実践できるごみ減量手法を推進します。
- ★エコイベントへの参加を促進します。
エコイベントでの取り組みを推進します。
- ★事業系ごみの削減、資源化手法を調査します。
事業系ごみの削減や資源化手法を調査します。

作戦6 ごみ処理有料化制度の導入を検討する 2,000

- ★普通ごみの処理有料化について検討します。
資源ごみの分別回収を促進し、ごみ減量を進めたいという目的は、資源ごみの処理有料化の導入を検討します。
- ★有料化の導入を検討します。
資源ごみの分別回収を促進し、ごみ減量を進めたいという目的は、資源ごみの処理有料化の導入を検討します。

ごみ焼却量を1/3削減するには、多くの市民の協力が必要です。

作戦ごとに異なる焼却量の削減目標です